

創刊にあたって

札幌学院大学 総合研究所

所長 中村永友

このたび札幌学院大学 総合研究所 紀要を創刊することとなりました。

札幌学院大学 総合研究所は学内の研究に関する様々な事柄を統括することを目的として2008年に設立されました。設立目的の一つとして、研究部会である各学部が刊行している論集・紀要の統合がございました。しかしながら、それぞれの独自色と個性の尊重から、統合は見送られました。一方、これまでの各学部の論集には、その学部の色に馴染まない論文も掲載されておりました。本学の研究者を俯瞰しますと、今後学部横断的な学際的な特設部会の設立とそれに伴う研究成果や、必ずしも所属学部の論集への掲載が馴染まない論文も出てくることが予想されます。さらには教養教育やFDなどの教育実践に関する論文、純粋な自然科学に関する論文、情報科学研究部会の論文等を統括できる“容れ物”が必要であると判断しました。このような経緯から、総合研究所紀要を創刊する運びとなりました。

本学は文系総合大学ではありますが、自然科学系や情報科学系の教員も複数在籍しております。これまで33年にわたって毎年発行してきた研究紀要情報科学がある種の受け皿となっておりましたが、この総合研究所紀要が後継雑誌となります。これにより、さらに違和感なく論文の掲載が可能となるでしょう。また今年度特設部会となった言語学談話会は、16年間にわたって活動してきた学外にも開かれた学部横断的研究会です。印刷媒体による研究成果公表の場ができたことによって、さらに活動の幅が広がることとなるでしょう。これらに限らず、本学教員の活発な研究活動の公表の場として、この紀要が利用されることを期待いたします。

2014年3月